

2008年12月21日

ノンポイント汚染研究委員会の皆様

ノンポイント汚染研究委員会  
委員長 國松孝男

### JWETへの論文投稿のご案内

日頃お世話になっています。

日本水環境学会E-ジャーナルへの論文投稿の第二次分については、締め切り日を2009年1月6日(火)まで延長いたしましたのでご連絡致します。皆様には下記の要領により積極的に投稿して頂きますよう改めてご案内致します。

#### 1. 主旨

ノンポイント汚染研究委員会は、IWAのスペシャリストグループであるDiffuse Pollution、Watershed and River Basin Management、およびUrban Drainageと積極的に連携し研究発表をしています。このうち、Diffuse Pollution国際会議(ICDP: International Conference on Diffuse Pollution)については、昨年の第11回ICDP国際会議はベロオリゾンチ(ブラジル)で、今年の第12回ICDP国際会議はコンケーン(タイ)で開催され、多くのメンバーによる口頭およびポスター発表が行われました。しかし、これまでと異なりWS&T特集号への選択的掲載という特典が無くなっています。

そこで、この2回のICDP国際会議に発表された論文を中心に、これらに加えてノンポイント汚染研究委員会メンバーから新たな論文を受け付け、ノンポイント汚染に関する論文を集中的にJWETに投稿するという企画です。

#### 2. 投稿論文の責任編集・査読

- (1) JWETのOriginal Paperとして受付します。
- (2) 投稿論文の編集・査読は、ノンポイント汚染研究委員会に編集・査読委員会を置き、委員会として責任編集・査読を行います。この件については、11月の運営理事会にて承認されています。
- (3) 編集・査読委員会は、國松孝男(委員長、滋賀県立大学)、井上隆信(農地林地部会長、豊橋技術科学大学)、古米弘明(都市流域部会長、東京大学)、藤井滋穂(国際活動担当、京都大学)、駒井幸雄(幹事、大阪工業大学)の5名で構成します。
- (4) 投稿論文の査読は、原則として委員会メンバー1名と、適任の部会メンバー1名の計2名の査読者により、JWETの査読方法に基づいて行います。
- (5) 投稿者および査読者が日本人の場合は、日本語によるやりとりとなります。

#### 3. 投稿方法

- (1) ページ制限はありませんが 6-20p を目安にしてください。
- (2) 投稿論文は添付の JWET 所定の書式に記入するようにして作成してください。
- (3) Guidelines for Authors および Sample paper は、日本水環境学会 HP の J. of Water Environment Technology をご覧ください。
- (4) 完成論文は WORD ファイルとしてメールの添付ファイルによりノンポイント汚染研究委員会編集・査読委員会事務局（駒井）まで下記のスケジュールにあわせてお送りください。

#### 4. スケジュール

- (1) 新締め切り日：2009 年 1 月 6 日（火）

査読期間：受付後～2009 年 2 月 20 日

JWET 部会への送付：2009 年 2 月末

発行：2009 年 3 月号

査読状況により 2009 年 3 月号に間に合わない場合は、順次以後の号に掲載することになります。

#### 5. 送り先(e-mail)

komai@env. oit. ac. jp